

本校の取組み及び 結果概要

～子どもと職員の『今』も『未来』も幸せに～

子どもたちと職員一人ひとりの

『ウェルビーイング』をめざして

令和7年（2025年）3月5日（水）

枚方市立田口山小学校 校長 齋藤 博

1. 学校の経営

◆ 「心理的安全性」の高い学級・学校運営

(1) 校長講話：「心理的安全性」の高い職員室づくり

- ・人はありのままの自分でいられるとき、そして全人格をかけて仕事をするとき、最もよい仕事ができる。
- ・メンバーのことを知り、気にかけてると、チームを導くことはずっと楽しくなり、チームは遺憾なく実力を発揮できる。
- ・個々の優しさが、組織の優しさになる。



『一兆ドルコーチ』：ダイヤモンド社 より一部抜粋

1. 学校の経営

◆ 「心理的安全性」の高い学級・学校運営

(2) 通常の学級のユニバーサルデザイン化

- ・通常の学級の前方黑板に、カーテンを設置



(3) ホットルーム（不登校支援ルーム）の開設

- ・「学校だより」にて、家庭で不要になったソファの寄贈を呼びかけ



1. 学校の経営

◆ 「心理的安全性」の高い学級・学校運営

(4) 校内研修：学級づくり 講師：関西外国語大学 明石 一朗先生

【学級づくり】



- ①どの子も「受け入れられている」という**良好な人間関係**があること
- ②失敗を笑わない**信頼関係**で結ばれていること
- ③**学習規律**が守られどの子にも**学習への参加が保障**されていること
- ④**学習者**としてだけでなく、**生活者**としても理解されていること

1. 学校の経営

◆自己肯定感を高める生徒指導体制の構築

(1) 生徒指導研修： 講師：児童生徒課 長岡 桂佑 指導主事

生徒指導PTの方向性

目標

安全・安心な学校づくり

アプローチ1

既存の取組みを価値づける

+

アプローチ2

新しい知識をインプットする

+

アプローチ3

情報発信をする

1. 学校の経営

◆自己肯定感を高める生徒指導体制の構築

(1) 発達支持的生徒指導

ポジティブ行動支援 (PBS/PBIS) とは・・・

教職員の「こんな姿になって欲しい」
児童生徒の「こんな姿になりたい」を
実現するための枠組み

※特定のプログラム・手法ではありません



**ポジティブな行動を
ポジティブな(かつ効果が実証された)アプローチで
伸ばしていくのが特徴**

「行動の後の工夫」については・・・

望ましい行動ができた時のポジティブ・フィードバックの仕方には色々ある
※子どもたちに適していて、教職員がやりやすい方法で



褒める・認める



チケット・手紙



シール・スタンプ



花丸



子ども同士で



自身で振り返って

1. 学校の経営

◆自己肯定感を高める生徒指導体制の構築

(2) 創立50周年記念式典 校長あいさつ

枚方市立田口山小学校

創立50周年
記念式典

令和6年(2024年)11月16日

先生方にも、
聞いてみました。

子どもたちの
よところ
良い所

あいさつが できる

友だちに優しい

切り替えが早い

素直・人なつっこい

【令和6年度 児童アンケート 結果】

項目	R5 肯定	R6 肯定
1 学校へ行くのは楽しい。	86%	78.8%
2 自分のよいところを知っている	67%	55.5%

【課題】

- ・ 「心理的安全性」を高める取り組み
- ・ 「自己肯定感」を高める取り組みを引き続き、進めていく。

2. 学校組織の運営

◆スピード感のある学校運営体制の確立

- ・校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

※学校運営上必要な一切の仕事の責任者

※職員会議：校長が主宰

- ・企画委員会の臨時開催（15分程度の短時間で意思決定）

- ・校務分掌を3部会 ⇒ 2部会に（かつての3学級のなごり）

2. 学校組織の運営

◆管理職の伴走により自走する教職員集団づくり

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

(1) 石川県加賀市へ視察（校長・首席・研究主任）

02 加賀市の取組み

自分で学ぶ力・人を頼る力をつける

自律した学習者を育てる



02 加賀市の取組み

「自分のペースで自分で学ぶ」

「学び合って、助け合って、共に学ぶ」

子どもに学びを委ねよう



2. 学校組織の運営

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

(1) 校内研究：総合的な学習の時間

(2) 石川県加賀市へ視察（校長・首席・研究主任）

02

加賀市の取組み

具体的に子どもをイメージして
一人ひとりの特性に合わせた手立てを考える
「個別最適な学び」「学習の個性化」

あの子は、こんな手立てがあると良いだろうな
あの子は、この手立ての方が得意だろうな

02

加賀市の取組み

手法・空間・時間
〈自己決定〉

自己調整力を働かせる
自分をコントロールする

〈自律した学習者の育成〉



2. 学校組織の運営

◆管理職の伴走により自走する教職員集団づくり

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

(3) 長野県大日向小へ視察（教頭・理科専科・3年担任）

(4) 広島県常石ともに学園へ視察（4年担任・6年担任）

(5) 長野県大日向小学校の教頭先生による研修（年 4回開催）

子どもたちが『自己選択』し、
挑戦したい場所へ。



「マット運動を楽しもう」

『多様な学びの場』の設定により、

子どもがイキイキと活動に！



トレーニングメニュー

- ① 計算ドリル21番
- ② 算数プリント
- ③ 教科書P50
- ④ navima
- ⑤ 計算ドリル14~20
- ⑥ 標準テスト
- ⑦ ハイレベルテスト



①は
絶対にやりましょう

②~⑦
どれからやってもよい

自分で選ぶ



全員がやる

答え合わせ
① 自分でする。
② 同じ問題をやっている友達と
交換（こうかん）して丸つけをしてもよい。

① 計算ドリル21

ルール

目的

- ① 全員が小数のかけ算をできるようにする。
- ② テストに向けて様々な問題を解く。
- ③ 友達に聞いたり、教えたりすることで小数のかけ算を得意にする。

ルール

- ① 「教えて」と言われたら必ず教える。
- ② 同じグループで相談して解決しない問題は立ち歩きオッケー。
- ③ 1人で取り組みたいときは1人でやる。相談したくなったらグループに聞く。



教え合いはOK

- ・教える側は分からなくて困っている人に教える。
- ・教わる側は本当に分かるまでどんどん質問する。

注意

- ・1人で考えたい人もいるため、無理やり教えない。
- ・教える側は「ここまで分かった？」など相手の反応を見て教える。
- ・教わる側が解き方を説明できれば本当に分かった証拠。



◆課題：食べ物（栄養）は、主にどこで吸収されているのだろうか。

調べ学習の方法は、

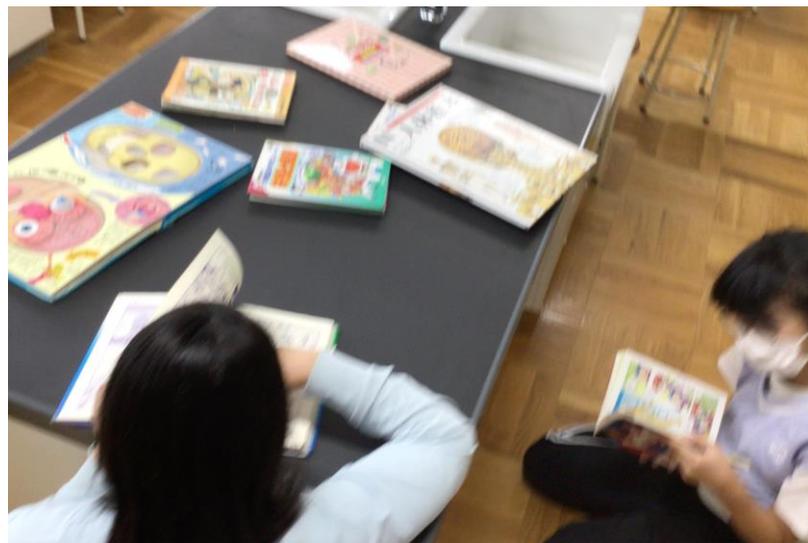
- 人体模型を使って調べる。
- 資料や書籍を使って調べる。
- 動画やインターネットを使って調べる。

などから、『自己選択』『自己決定』。

調べ学習の仕方は、

個人、ペア、グループ、先生となど、
子どもが『自己選択』『自己決定』。

子どもたちが『主体的』『対話的』に『深い学び』を。



総合的な学習の時間 【4年生】

～フードロスを無くそうプロジェクト～

豊かな自然のために、地域の人と協力して

①給食の残食調べ



10月 スタート！

7日(月) 7kg

8日(火) 2.6kg

9日(水) 6.8kg

10日(木) 12.4kg

11日(金) 8.8kg

総合的な学習の時間

②近所のスーパーや飲食店「チラシ」配付等の依頼。



③全校児童に向けて、「学び」を発表



近所のスーパーに
食品ロスのチラシを配りたいと電話。
(校長室にて)

総合的な学習の時間

④近所の飲食店へ

お客さんのテーブルごとに、
メニューと一緒に置いて頂いてます。

みんなで協力して
食品ロスを
無くしましょう!

ずんばら屋
での取り組み

- ご飯と味噌汁のコーナーに食べ残し注意の張り紙をはる。
- キッチンなどで出たあまりの食材は従業員が食べる。
- 食べ残してしまった料理は家に持って帰って食べる事ができる。

食べられる量だけ頼もう

出来るだけ好き嫌いを
せず食べよう

田口山小学校
4年2組

自然のためや、環境のために フードロスをなくそう!!

ご飯以外にも食べ物も粗末に
しないで!!



食べなかった食べ物は捨てられて食品ロスにもつながるからなるべく食べ切ろう



ずんばら屋での取り組み



⑤田口山小の保護者へ配布（意識啓発）

1年間646万
トン

全ての生き物のためにみんなで
協力して食品ロスをやめよう

食品ロスをすると地球温暖化
にも繋がっちゃう!

食品ロスとは食べられないのに捨ててしまう食品のことです。食品ロスはせっかく頑張って作った人がいるので労力やお金も必要なのでお金も無駄になってしまいます。食品ロスは環境にも悪影響を及ぼしてしまいます。食品ロス削減は食料資源の有効利用や地球温暖の抑制につながり状態維持可能な社会の実現に貢献につながるのです。

最近食品ロスが増えてきていますから、
手前から取ったりたべないのに食品を買って捨て
ないように
ご協力をお願いします。

枚方市立田口山小学校
保護者へお願い

フレバの店長さんの話

1こいたんでるやつとかは、それだけ避けて販売していたりして1ふくら丸々捨てるんじゃなくて避けている。喜んで食べてもらうために食品ロスを無くそうとしている。

総合的な学習の時間 【5年生】

田口山小学校の自慢って何だ！ 「田口山遺跡」

①枚方市役所 文化財課の出前授業



- ・枚方市内の小学校の運動場に、遺跡があるのは、田口山小学校だけ。
- ・運動場の下に、遺跡があるため、運動場までに階段がある！！
- ・田口山遺跡から発掘された土器や石器について、授業。

総合的な学習の時間

②自分たちでも学習



③実際に作ってみる。



総合的な学習の時間

- ④全校に向けて、
「ひらかたむかし話」の劇を発表。

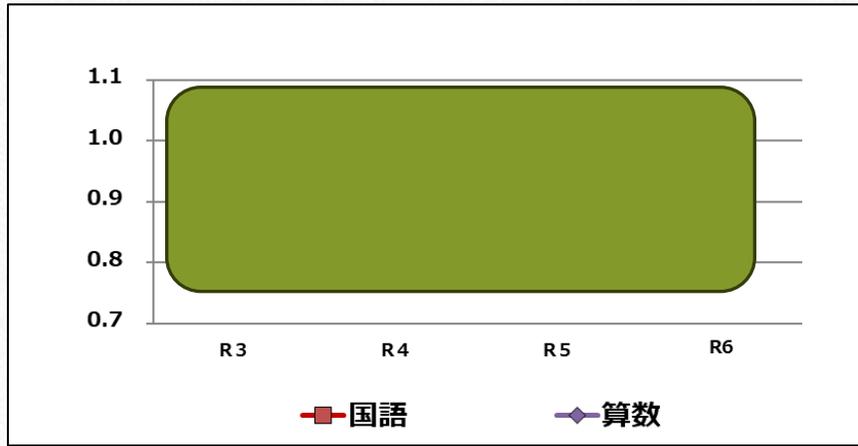


- ⑤弥生時代や土器について、ポスターづくり



令和6年度 全国学力テスト結果より

(全国の平均正答率を1とした経年比較)



平均正答率 (対全国比)	国語	算数
令和5年度	<input type="text"/>	<input type="text"/>
令和6年度	<input type="text"/>	<input type="text"/>

アンケート 項目	令和5年度 (肯定)	令和6年度 (肯定)
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	53.9%	78.6%
全国	74.8%	81.3%

令和6年度 全国学力テスト結果より

【成果と課題】

【国語】

◎人物像や物語の全体像を具体的に想像する。

	正答率	無解答率
本校	87.9%	6.1%
全国	72.6%	12.6%

【算数】

◎計算の仕方を考察する。

	正答率	無解答率
本校	60.6%	3.0%
全国	56.9%	3.4%

◎資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。

	正答率	無解答率
本校	37.9%	0%
全国	52.9%	0.7%

◎折れ線グラフから情報を読み取り、言葉を用いて記述する。

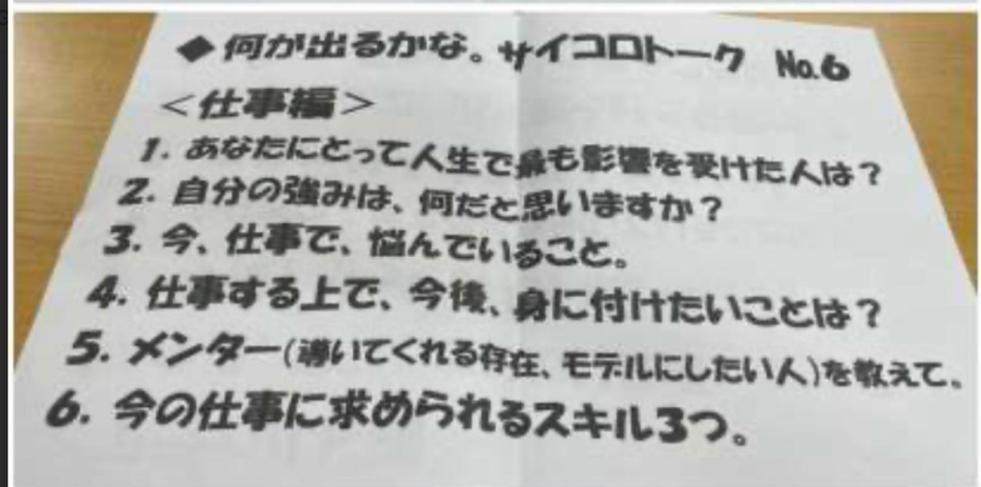
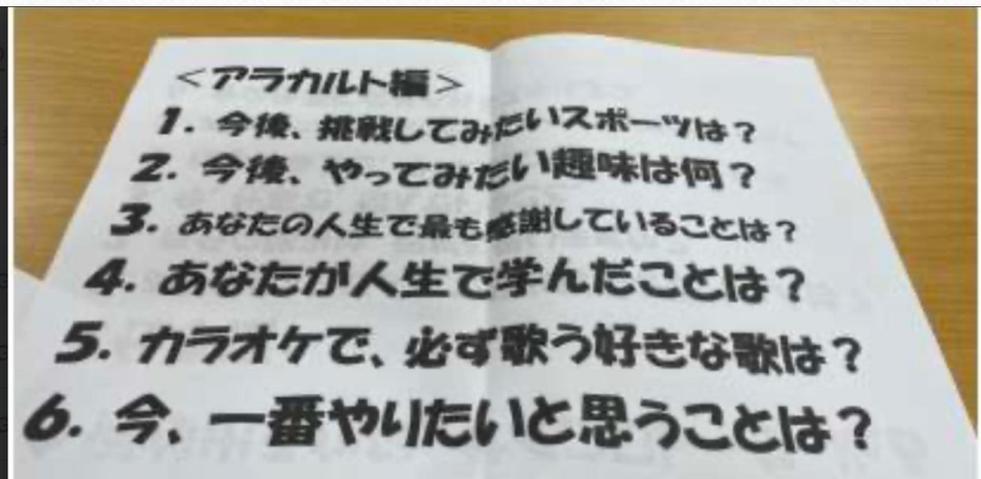
	正答率	無解答率
本校	36.4%	6.1%
全国	44.0%	12.6%

3. 教職員の働き方改革の推進

◆OJTチーム体制構築

(1) 初任者と中堅の定期的な懇談

(2) 教頭職1年目



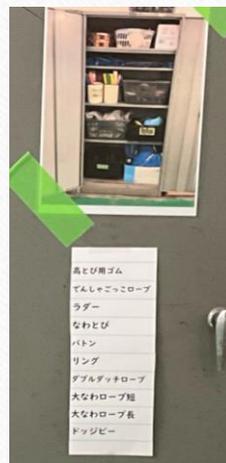
3. 教職員の働き方改革の推進

(1) 働き方改革

- ・ 毎月の平均時間外勤務（校内）の共有化 ← 時間外勤務の意識向上
※保護者にも学校だより（6月号）で周知
- ・ 休養室の確保：物置きとなっていた畳の部屋の整理
- ・ 5年・6年で、国語と算数の教科担任制の試行実施（期間限定）
- ・ 道徳の担任交代制（1組担任が2組で、2組担任が1組で授業）
- ・ 月曜日清掃なしDay：下校時刻15:05⇒14:45に
- ・ 令和7年度の「大阪教育新潮」に本校の取組み記事に（8月頃発行予定？）

4. 地域連携と渉外

子どもが自分で使える環境づくり～



◆開かれた学校づくり

- ・ ブログにて、子どもたちの様子と先生の頑張りを日々、発信
※1日平均8件 更新
- ・ 学校は学校の様子を発信している：86.5%（学校教育自己診断）

4. 地域連携と渉外

◆保護者・地域との連携の充実



正門の校名が分かるように（黒字⇒白文字に）



正門の壁・遊具のペンキ塗り



4. 地域連携と渉外

◆保護者・地域との連携の充実

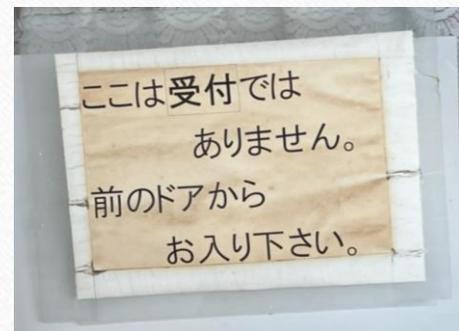


創立50周年記念 PTAからの寄贈

- ・ 来賓用スリッパ
- ・ 桜の植樹
- ・ 運動場に遊具
- ・ 運動会用スピーカー
- ・ 50周年記念冊子・ファイル
- ・ 50周年の横断幕



PTAより遊具の寄贈



先生がワクワク楽しければ
子どももワクワク楽しい

ありがとうございました。

